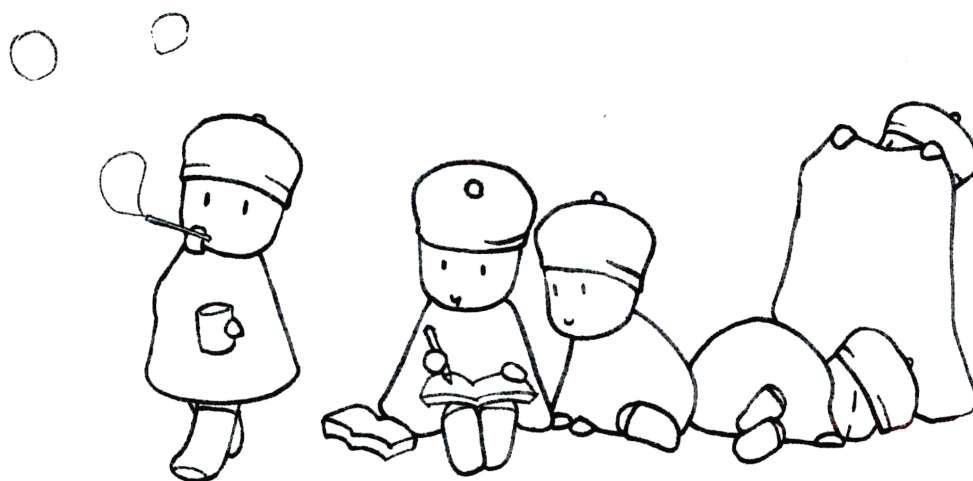


京都・市民放射能測定所1年のあゆみ

～ともに歩んで下さる会員の皆様に感謝を込めて～



本当に守りたいものはなんですか？

こどもたちの笑顔

こどもたちの未来

今を見つめ、共に考え続けるために――

これからも、ともに1歩1歩

ごあいさつ

2013年2月16日

京都・市民放射能測定所

代表 奥森祥陽

福島原発事故による放射能汚染は広範囲に広がり、私たちは放射能と向き合って生きていくことを余儀なくされています。政府が定める「基準値」以下の汚染食品が全国に流通し、大人も子どもも内部被曝を強いられています。

こうした状況の中、私たちは、市民自らが放射能を測定し、放射線防護の知識を身につけ、正しく判断していくための「ツール」となる京都・市民放射能測定所を昨年5月19日に立ち上げ、ちょうど1年がたちました。

今日まで約600検体の測定を実施してきました。京都府内産の農産品や畜産品からは放射性セシウムを検出することはありませんが、流通している加工食品等からは検出することがあり、市民による監視の重要性をあらためて感じております。

今、全国で多くの市民測定所が活動しており、関西でも京都に続いて奈良市、西宮市で開設されました。市民による放射能測定の全国的な取り組みは「すべての食品の放射能測定と公表（表示）」という大きな目標を実現する力になります。

本年2月から、プレマ株式会社様が所有している放射能測定器「AT1320A」と測定ルームを、市民向けの測定に使用させていただくことになり、「四条烏丸測定室」がスタートしました。プレマ株式会社中川社長様をはじめ、関係者のみなさまに心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

当所は、240名の会員と20名余りのボランティアスタッフの献身的な活動に支えられて、1年間運営してきましたが、決して順風満帆といえる状況ではありません。多くの会員に支えられているとはいえ、依頼測定は思うように伸びず、財政的には厳しい運営に余儀なくされています。

私たちは、開設から1年間の取り組みの成果と踏まえ、測定所会員の更なる拡大とともに、会員の測定利用の拡大を働きかけていきたいと考えています。また、保育所の給食食材の依頼測定をさらに広げるとともに、農業生産者や飲食店経営者のみなさまに当所を利用していただけるとともに、積極的に営業活動も行っていきたいと考えております。

関西では、京都に続いて奈良市、西宮市に測定所が開所しました。三重県名張市や神戸市西区にも測定所が開所しています。また、中国地方には岡山県、広島県に測定（依頼）所が設立されています。

当所はこれまで、CRMS 福島やこどもみらい測定所、測定所全国ネットなどと連携を持ち、測定技術を学びながら、関西初の測定所の運営を行ってきました。現在、上記のように関西、西日本に多くの測定所開設されているので、関西、西日本の測定所ネットワークをつくり、連携を強めていきたいと考えます。

これからも、京都市民放射能測定所をどうぞよろしく願いいたします。

京都・市民放射能測定所 1年の歩み

- 2011.11.27 キックオフ集会 JA会館
- 12.11 京都・市民放射能測定所 第1回会合
- 2012. 2.4 プレマ(株)様で初研修会
- 4.6 AT1320A納入
- 4.8 ホンマにつくるぞ！市民測定所
守田敏也さんの講演と食品測定見学会ー
- 5.19 オープニングセレモニー
- 5.20 京都・市民放射能測定所オープン
- 7.28,29 zenko大会in大阪にて出張無料測定会
- 10.21,22 測定所祭りat伏見区役所にて無料測定会
- 11.25 ベジタリアンフェスティバルat梅小路公園にて
ブース出店
- 12.15,16 奈良・市民放射能測定所にて無料測定会
- 2013. 2.7 四条烏丸測定室オープン
- 5.3,4 UNIチャリティーフェスティバルat梅小路公園
にてブース出店



祝！京都・市民放射能測定所オープン



測って安心、食べて美味しい
しあわせごはん♡や
ほっこりカフェも大人気🍪



四条烏丸測定室
通称よん☆からオープン

測定スタッフ 楠本よりこの1年を振り返って

1年前は初めて測定所を訪れる方と同じように食品の測定とは何をどうするのか全く分からない所からスタートしました。
測定を重ねるにつれ、西日本にもセシウムに汚染された食品が流通したり生産されている事が分かり、実際に自分で数値で見るとショックを受けました。
スペクトルを読み取るのも重要で数ベクレルの汚染があれば分かる時もありますし、国の100Bq/kgというものが、とんでもない基準値で企業などが作ってる独自基準なども、例えば20Bq/kgもあれば明らかに不自然なスペクトルが立ちます。
これを流通させるという事はセシウムに汚染されているのを分かっているながら売っているということで、到底受け入れられるものではありません。
僕達にはこれらのセシウム汚染食品を拒否する権利がありますし、大人として、親として子供達の口に入らないように、手に触れさせないようにする義務があります。
市民が自分たちで測定する力を手に入れたことの意味はとても大きいと思います。
食品を測定するのは難しくまだまだ勉強が必要ですが頑張りますので、皆さん応援よろしくお願ひします♡

測定所の利用者・支援者の方の声

『びくびくしないでくらす権利』

私たちは、毎日の暮らしが明日も続くことを信じて暮らしています。

それは、食べるものが明日もあると思い、そして自分の生命の調子を感じているからでしょう。しかし、そんなに安心しきっていいのでしょうか。

一昨年の3.11以降、日本人は、この両方とも自分だけの力では保持できないということを学んだはずでした。

それなのに、自分のことは自分でという自己責任論が強調され、「家族はお互いに助け合わなければいけない」と明記した憲法を作りたいと安倍さんは言っています。

国にそんなお説教をたれる資格を与えてなるものか、と私は思います。

子どもには安全を証明した食料とどの子もびくびくしなくてもいい環境を保障するため最大の努力をするのが国の責務だ、と現憲法は国に命じています。(13条)

保育園は自治体が国と共に子どもを大切に作る場としてあるはず。その給食の安全を確かめるため、放射線測定はとても大切です。

たかつかさ保育園 園長 藤井 修

『市民測定室は給食室の大切なパートナー』

放射性物質は色もなければ、匂いもしないので、汚染されているかどうかを知るには測定器で測るしかありません。

たかつかさ保育園では震災以降、西日本産の食材を使って給食をつくっています。それ以外の食材を使う時は、事前に市民測定室で測定してもらいます。

この一年間で約30の食材を測定してもらい、安心して給食に使えるようになりました。

成長、発達の著しい乳幼児の給食に責任をもつ者として、気軽に安価で食材の測定ができる市民測定室に期待をしています。

たかつかさ保育園 給食室 王野



『ゲルマニウム半導体測定器を導入し、 関西各地の市民測定所をバックアップします！』

間もなく測定所開設から1年ですね。

予想していたよりセシウム検出される数が少ないですが、多数が加工品や外食産業に回っているからでは？との疑念も消えません。

AT機（ヨウ化ナトリウムシンチレーター）での限界を超える領域での調査が必要だと痛感したので、弊社でゲルマ機を導入する事にしました。

これを京都始め、関西圏市民測定所のクロスチェック用として活用出来る様に致します。

少しでも不安を解消出来る様に一緒に頑張りましょう！

南福崎土地 末野

『測定済み商品を販売中！』

～いのち・くらし・あんしん・つながりをひろげるフェアコープ～

添加物や化学物質の入った食べ物、人間や環境に悪影響をもたらす合成洗剤。非正規労働が増えて賃金が減少し、利益優先の商品があふれている社会。そして放射能汚染。

「信頼できる生産者の商品を、消費者の手に」がフェアコープの理念です。働いているのは、解雇や派遣切りに遭った若者です。この事業を発展させ、働く場を確保したいと思っています。

放射能検査で不検出を確認済の秋田の美味しいお米や高知の野菜、調味料を販売中です。ぜひよろしくお願ひします。

<http://www006.upp.so-net.ne.jp/faircoop/> 関西事業所 西岡)

ホは放射能のホ♪

～放射能から身を守るための基礎知識（きそちしき）～

2013.5.19

1. 放射能汚染の怖さ ～ベクレルの話～

「1キログラムの中に100ベクレルの放射能を含む食品なら食べても安全」というのが今の日本の基準。(牛乳は50ベクレル)

では、「ベクレル」って何？

「1ベクレル」とは、放射性物質（セシウム134など）が、「1秒間」に「1回」崩壊し、別の物質に変わることを意味します。その時放射線という光線を出すのです。ベクレルとは放射性物質が1秒間に出す放射線の本数を表す単位です。

だから、50ベクレルの放射性物質を含む牛乳1リットル（≒1キログラム）を飲むと、体内で1秒間に50回放射線を受けます。1日24時間休まずレントゲン検査をしている状態です。1時間では、3600秒 × 50回 = 18万回 放射線を受け、内部被曝します。(体の内側から放射線を浴びます)

みなさんなら、この牛乳、飲みますか？



2. 不検出のマジック ～検出下限値の話～

厚生労働省のホームページに各地の食品の測定結果が載っているのをご覧になったことはあるでしょうか。検出なし、もしくは不検出という言葉は皆さん聞いたことがあるかと思います。

測定結果の数値が「<25」となっているのは、「検出下限値25ベクレル」で「検出されなかったよ」という意味です。

これはどういうことかと説明をすると 25ベクレル以下の数値の放射性物質が食べ物にあったとしてもわからないよ、ということです。この結果は、もし10ベクレルを下限値にして検査したら、汚染が見つかる可能性があるともみなければなりません。

不検出＝どんな検査でもベクレルゼロ ではないのです。

現在厚生労働省が公表している検査結果はうのみにできないな！と言わざるをえませんね。

では何ベクレルならいいのでしょうか。

京都市民放射能測定所は、測定結果を以下の方法で検証しています。

- ①スペクトルを見る。
- ②セシウム134とセシウム137の割合を見る。
- ③セシウムの「ピーク」が検出されているかを見る。
- ④疑わしい場合は長時間測定（検出の確度が上がり、検出下限値が下がる）を行う。

測定器の能力の限界に近いところまで追求（検出下限値が1ベクレル程度まで下がる時もあるくらいに）し、汚染の有無を見極める努力をしています。(残念ですがピークとスペクトルについてなど詳しくは次回に続きます。)

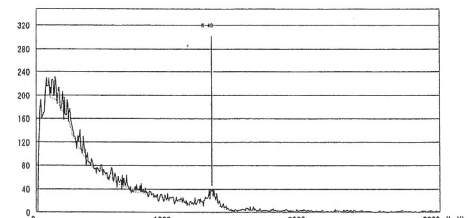
放射能測定結果

印刷日時：2013/04/21 13:42:17

測定場所	京都・市民放射能測定所 (丹波橋測定室)	測定者	島田真理子
測定番号	T130418-01	測定機器	AT1320A(S/N:20680)
測定日時	2013年04月18日 09時25分24秒	測定時間	1800 秒
測定対象	Milk1111.11	試料重量	1010 g
分析対象	2Cs+K	信頼水準	0.95
試料情報	白米 福島県産 24年度産		
セサミ合計	---	Bq/kg	

判定	核種	放射能濃度	絶対誤差	統計誤差	検出下限値	注
不検出	Cs-137				3.17 Bq/kg	
不検出	Cs-134	1.79 Bq/kg	±1.83 Bq/kg	>100%	2.93 Bq/kg	
不検出	K-40	22.8 Bq/kg	±22.7 Bq/kg	99.4%	36.8 Bq/kg	P

【判定条件】 検出(検出下限値以上)
 (L→検出) P: L→検出 M: 両→L→に複数核種が存在



サーベイピーク	No.	核種	放射能濃度	絶対誤差	統計誤差	検出下限値	核種	エネルギー(keV)	放出率(%)
1	222.43	Cs-137	1.79	±1.83	>100%	2.93	K-40	1460.83	10.67
2	189.1	Cs-134	1.79	±1.83	>100%	2.93			
3	151.0	Cs-137	1.79	±1.83	>100%	2.93			



測定所スタッフより

『測定することの意味』

あの悲惨事 3.11 をきっかけに、私は今まで無関心だった『放射能』という怪物と向き合う事になりました。広島・長崎の原爆が落ちた事も知っていた、チェルノブイリ原発も知っていた、知らなかったのは放射能の怖さでした。

食品の暫定基準値を1キロあたり100ベクレル以下なら安全と言っても、しきい値はなく100ベクレルが安全だという保証はどこにもありません。1日99ベクレルの食材を365日食べたら36135ベクレルの摂取になります。こどもは大人の数倍身体に影響を受ける為、極めて危険です。自分達の身は自分達で守らなければ国は守ってはくれません。今の福島県を見て立証済みだと思います。

市民放射能測定所の意味はとても大きいと思います。まず、測定する事により目で確かめる事ができ、この活動が全国的に広がれば、行政や国にもいづれ対策をとらざるを得なくなるのでは、と思っています。生産者さんの意識も高まると思います。まだまだ長い道のりではありますが、地道に測っていくことが重要だと思っています。是非、皆様のお力添えをご頂戴したいと思います。

私はアロマセラピーが専門で、測定所のイベントなどで『ハンドマッサージ』をさせていただいています。とっても癒されると好評をいただいています。ぜひご利用くださいね。

(スタッフ Sachi)

『体験した事実を伝え続けたい』

原発事故の影響を受け、震災から9か月後、福島市飯野町から京都に子どもを連れて避難をしました。自ら測定しなかったら、避難を決断できなかったかもしれませんが、高校生の娘も父母も友達も、いくら放射線量が高くても普通に福島で暮らしています。

私が測定に携わるのは、福島での測定があまりに杜撰であること、そして未だにまだあの事故は終わってないということを忘れないためでもあります。

世間一般はすでに風化しているようではありますが、本当の事がちゃんと伝えられておらず、これは被災地だけではなく全国的、世界的な問題であり、大人達皆が意識していかなければならない大きな課題です。

今は避難した母親どうし、放射性物質で汚染された土地に暮らす子ども達をどう動かすかを日々考えています。諦めず、私たちが体験した事実を伝え続けていきたいと思っています。

関西ではじめて立ち上がった測定所に関わることができたこと、また、意識ある大人が繋がることで実現できるということに大きな喜びを感じています。

(スタッフ Yuka)

毎月定例の催し

(日程は測定所のブログ等でご案内します。)

【測定所見学会】

測定の方法、測定結果の見方などを解説し、みなさまの疑問・質問にお答えします。

【ほっこりカフェ】

測定済の材料を使った安心なお菓子を食べながら交流しませんか？気軽にトークしましょ！

【全体ミーティング&勉強会】

月一回開く全体ミーティングで測定所の運営を行っています。誰でも参加できます。

最近始めた測定の勉強会も好評です。

賛同企画のご案内

★避難者子ども健康相談会・きょうと

6月16日(日) 10時～15時 (要予約)

対象：原発事故のため福島県および東日本から避難されたご家族

内容：医師による健康相談 (無料)

会場：伏見区役所 1Fホール

問い合わせ先：詳細は測定所ブログ参照

080-6034-3107/070-5017-1053

(齋藤・18時以降)

★沖縄と福島をむすぶ集い

6月9日(日) 13時30分～16時

内容：ジュゴン保護キャンペーンセンターの講演や、避難者の方の思いを伝える構成劇などがあります。

場所：バンビオ創作室 1 (JR長岡京駅)

連絡先：090-8146-8351 (川口)

会員のみなさまへ 会員継続 (年会費納入) のお願い

京都市民放射能測定所は、会員のみなさまのおかげで一周年を迎えることができました。

事務局一同、大変感謝しております。

しかし、今後も引き続き測定所の運営を続けていけるかどうかは、みなさまが会員を継続 (年会費納入) していただけるかどうかにかかっています。

会費は入会されてから1年間となっておりますので、更新時期を迎えられた方には、ぜひとも次年度の年会費を納入いただけますよう心からお願い申し上げます。

なお、右記の通り年会費を振り込んでいただいた方には、後日新しい会員証をお送りいたします。

よろしく願いいたします。

◇年会費 (会員になった日から1年間)
4千円 (改定しました。)

◇以下のいずれかの口座に振込んでください。

- ・郵便振替口座
00990-8-147255 京都市民測定所
- ・ゆうちょ銀行
14440-6770961 京都市民測定所
(他銀行からの場合)
店名 四四八 店番 448
普通預金 0677096 京都市民測定所
- ・京都銀行
小倉支店 普通 3764368
京都市民測定所 代表 奥森祥陽



京都・市民放射能測定所 事務局

〒612-8082 京都市伏見区両替町9丁目254

北川コンサイスビル 203号

TEL/FAX 075-622-9870

E-mail shimin_sokutei@yahoo.co.jp

<http://nukecheck.namaste.jp/> <http://crmskyoto.exblog.jp/>